

# 議会報告会 会場報告書

担当班：3班 班代表者：小島政行

概要			
地区名：福住地区 日時：平成28年11月22日(火) 19:30~21:00 場所：福住公民館 参加人数：24人(男24人・女0人)	<b>【出席議員】</b> 向井千尋 森本富夫 安井博幸 園田依子 小島政行 奥土居帥心	(1) 開会あいさつ：小島政行 (2) 議会報告：園田依子 (3) 質疑応答：下記参照 (4) 意見・提言等：下記参照 (5) 閉会あいさつ：森本富夫	挨拶・総括：小島政行 司会進行：奥土居帥心 報告：園田依子 受付・記録：向井千尋 安井博幸 会場(マイク)：森本富夫

## 【主な質疑】

質疑・意見	回答
・小学校統廃合について、地域にお任せみたいになっている。わからないのにシミュレーションするのは難しく、会議で悩む。議員の立場で行政といっしょになんとかしてほしい。	・議会からも教育委員会、行政の資産として困っていることを投げかけて返事を待っていることが多い状況です。行政は地域を尊重している面も多いが、地域と協働してほしいと考えます。
・コミバスを廃止して、大芋の方式を採用し、地域で運営していくとのことだが、複雑である。過疎地域は交通弱者がいるのも事実であるが、運転手の事故の問題などもあり、地域にばかり投げかけられているように思う。	・今回は公共交通について全面的に見直すとのこと行政の担当者が地域に説明に入っています。1年間かけて再編していくことから、地域で検討いただき、議員にも要望をあげてほしいと考えます。

質疑・意見	回答
<p>・少子化・定住促進対策特別委員会で調査研究され、最終報告、提案されたことが、どのように反映されているのか。福住は高齢化が進んでおり、子どもも本陣団地がなければ30人をきっていたのではないか。活力ある地域づくりをお願いしたい。</p>	<p>・特別委員会では3月に5つの提言をしました。市内の古民家を活用できれば観光資源となります。農ある暮らしを求める移住者にとっては30aの農地の取得要件のハードルが高く、農地を取得要件を緩和する提案をしています。地域に応じた取り組みが必要ですので、定住アドバイザーを中心に空き家を活用してU、Iターン者を地域に呼び込んでほしいと考えます。</p>
<p>・福住は伝健地区として認定を受け、改修も進んでいるが、空き家が管理できなくて放置されたままで、取り壊したら税金が6倍になる。特区で取り組むことでなんとかできないのか。</p>	<p>・空き家条例により、危険な空き家は最終的には、強制執行となっていますが、解体資金は所有者が負担することが前提条件です。今後特区も含め活用が難しい物件について、良い方法がないのか研究していきたいと考えます。</p>
<p>・集落内の消火栓が錆びて付近の家に倒れかけた。消火栓の点検は消防団か消防署か。また、費用は自治会が一部負担になっている。市で費用弁償してもらいたい。</p>	<p>・定期的に点検はしていると思いますが、持ち帰り、市にお繋ぎします。</p>
<p>・耕作放棄地が多くなっているが、誰か引き取ってもらえないか。現行では農地を小作に出せば買えないときいている。</p>	<p>・農地法上、原則として取得できないこととなっています。いただいた意見は市にお繋ぎします。</p>
<p>・防犯カメラを設置したいが補助はあるのか。</p>	<p>・事業費24万円とした場合、県8万、市8万、地元8万という補助事業があります。年度の当初に予算化するので取り組んでいただきたいと考えます。</p>
<p>・小学校の跡地問題については、市が補助金を出して地元が管理する方向であるが、これからも高齢化が進む中、どのように維持していくのか。次世代に負担を背負わせることを考えてほしい。私たちも10年したらわからない。</p>	<p>・廃校後の活用については、地域へ配慮されていることも事実ですが、地域から要望をされてはいかがでしょうか。議会からも伝えていきたいと考えます。</p>
<p>・養父市の事例では、特区により農地を活用している。議会で提案してはどうか。</p>	<p>・議会で共有します。</p>